

第二回十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会議事録(案)

2018年11月2日(金)17時15分～18時15分
於:神戸国際会議場4階「404」

出席者:

小寺, 山上, 庄, 黒田, 青山, 山下, 金治, 角嶋, 成田, 樋口, 永川, 藤井, 山田, 江口, 岡田,
井口, 浦岡, 山本, 加藤, 金高, 堀松, 赤堀(奈良医大事務担当), 中川(奈良医大事務担当)
(順不同, 敬称略)

欠席者:

室, 布部, 藤城, 牛久

(順不同, 敬称略)

議題

1. 新委員紹介:

和歌山県立医科大学消化器内科 井口幹崇 先生
群馬大学消化器・肝臓内科学 浦岡俊夫 先生
昭和大学藤が丘病院 消化器内科 山本頼正 先生
慶應義塾大学腫瘍センター 加藤元彦 先生
長崎大学移植・消化器外科 金高賢悟 先生
京都大学腫瘍薬物治療学 堀松高博 先生

2. ガイドライン作成

2.1 適応疾患確認:

十二指腸の定義および今回の対象; 十二指腸球部からトライツ靭帯左縁まで。
適応疾患; 腺癌(腺腫, 粘膜内癌を含む)。
乳頭部癌およびリンパ腫, カルチノイド等の稀な悪性腫瘍は除外。

2.2 サブグループ: アルゴリズム及びCQの草案作りをサブグループに分けて担当。 最終的には全委員の合議で決定。

1. 疾患概念/診断: 疫学, リスクファクター, 遺伝, 症状, スクリーニング, 画像診断, 病期分類等。
2. 病理
3. 内視鏡治療: EMR, ESD, LECS, スtent。(LECSは外科・内科領域横断的であることを勘案)
4. 外科治療: 手術適応, 術式。
5. 薬物療法: 補助療法, 切除不能癌
適応上は「小腸癌」という扱いになる。
従来から種々の薬物療法が行われており(小腸癌に準じた治療, 胆管癌に準じた治療, 胃癌に準じた治療など)暗中模索状態であるが, 現時点(初版)での best practice をガイドラインで提言する。
6. その他: 緩和治療(姑息的手術, スtent等), フォローアップ, 放射線治療等に関するCQ。

- 2.3 サブグループリーダー選出
疾患概念/診断: 藤城光弘 先生
病理: 牛久哲夫 先生
内視鏡治療: 角嶋直美 先生
外科治療: 岡田健一 先生
薬物療法: 堀松高博 先生

各グループリーダーは, アルゴリズムおよびそれに基づくCQの草案作成.
必要があれば新委員の招聘も随時可能.

3. 全国調査

- 3.1 目的: 疫学, 予後, 治療関連合併症など現時点での全国集計.
ガイドラインとは別の Project として進めて, 論文化を目標とする.
外科と内科では対象や治療法が異なるため, 統一したデータベースは様々な点で
難しい可能性. 内科系, 外科系別に行うことを検討.
全国調査の方法: NCD, DPC レセプトデータ, 都道府県癌登録, JED 登録→各々に
難点.
3.2 アンケート依頼施設:
外科系: 日本肝胆膵外科学会修練施設(A)111 施設(+ 修練施設(B)106 施設).
内科系: 外科系依頼施設の当該内科に依頼することを検討.
消化器内視鏡学会内の研究会でも High volume center 11 施設を対象と
したアンケート調査が進行中とのこと.
3.3 検討項目の設定
次回までに委員長が草案を作成し, 委員の意見を募る.

4. 次回委員会

- 4.1 2019年1月12日(土)10:00-12:00
場所, ビジョンセンター東京駅前
<https://www.visioncenter.jp/tokyo/ekimae/>
4.2 次回審議事項, 目標
次回委員会までにアルゴリズム及びCQ草案の作成.
次回委員会でアルゴリズム案, CQ案の検討. 全国調査の検討項目設定

5. その他

- 5.1 厚労科研「希少癌診療ガイドラインの作成を通じた医療提供体制の質向上」第二
回班会議 兼 中山健夫教授による Minds ガイドラインマニュアルにおけるガイド
ライン作成の考え方についての講演会
日時: 11月24日(土)10:00~12:00, 場所: ザ・プリンスさくらタワー東京 2階「56
- 9」

今後の検討課題.

- ・患者代表の参加について.
- ・放射線治療医師の参加について.